

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (那珂川流域)

1 流域の特色(国有林 41千ha、民有林 90千ha)

- ① 本流域は栃木県の北東部、那珂川の源流域及び中流域を形成している。
源流域の国有林は、天然林が7割を占める高山地域(高原、大佐飛、那須)に所在し、日光国立公園に指定され、一部は国及び県指定の自然環境保全地域になっている。
多くの温泉場や溪谷、秀でた森林景観に恵まれ首都圏からのアクセスも容易なことから、自然探勝、スキーや登山など保健休養の場として多くの人々が訪れ、「水土保持林」と併せ「森林と人との共生林」の機能発揮が求められている。また、里山地域は、民有林と共に良質のスギ・ヒノキを産する高原林業地を形成している。
- ② 一方、中流域の八溝山系に所在する国有林は、低山地の肥沃な土壌が形成されスギ・ヒノキの生育に適し、民有林と共に八溝材ブランドの優良材の産地を形成している。高原・八溝地域の豊かな人工林から生産される丸太の生産量は県内生産量の6割を占めている。また、大規模製材工場が県北に集中立地している為、製材品は県内生産量の6割を占め、首都圏へ出荷されている。
- ③ 今後、森林・林業再生プランに即して、那珂川源流域は生物多様性、水土保持機能、保健休養機能に配慮した公益的機能の持続的発揮を重視すると共に、中流域は水源涵養を高めつつ民有林と連携した人工林の整備と木質資源の利用拡大による低炭素社会への貢献を重視する。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 民有林と連携した森林・林業再生プランの地域的な取組の強化
- ② 木材の安定供給と小径材等未利用資源の利用拡大
- ③ 合理的路網整備による森林施業の推進、地域社会・民有林との連携強化
- ④ 生物多様性に配慮した治山、森林施業、モニタリングの推進と病虫獣害対策の確立
- ⑤ 森林空間利用タイプ森林の森林整備、保全・管理活動の強化
- ⑥ フィールド提供や技術情報の提供による森林環境教育や民間林業活動への支援強化

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 地方自治体
 - ア) 全国一の鮎漁獲量を誇る那珂川源流部の水土保持機能の拡充
 - イ) 森林空間利用タイプ森林の保全管理の充実、保健保安林の拡大
- ② 森林・林業関係団体
 - ア) 森林整備事業等の事業量確保と安定発注

- イ) 良質な国有林材の安定供給
- ③ 企業、市民、NPO等
 - ア) 法人の森、広葉樹の森づくりの推進
 - イ) 山岳観光地の安全・衛生（トイレ、標識）の充実と希少種の保全・保護の強化

4 国有林野事業が率先して行う取組

- ① 計画的な木材供給の推進
 - ア) 目標
安定した木材の供給と木質資源の利用促進
 - イ) 連携・協力機関
自治体、活性化協議会、森林組合、地域林家
 - ウ) 取組方向
システム販売等による小径材、短尺材等を含む安定供給、林地残材の利用促進の為の取組強化（地域集落、新規需要者、チップ工場）
- ② 森林施業の効率化・共通化等の取組
 - ア) 目標
分収造林を含む森林整備や路網整備の民・国連携した取り組みの促進
 - イ) 連携・協力機関
自治体、活性化協議会、森林組合、地域集落、部分林組合
 - ウ) 取組方向
分収造林含む国有林の森林・路網整備に関する情報を広く地域に提供することで団地施業や効果的路網整備の推進に資する。
- ③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
 - ア) 目標
生物多様性に配慮した新たな技術開発、緑の雇用等への協力
 - イ) 連携・協力機関
自治体、森林組合、林業事業体、自然保護NPO
 - ウ) 取組方向
溪流生態系に配慮した治山施設の設置、希少種の保全保護に資する森林整備や病虫獣害対策の実施、緑の雇用担い手対策に対する研修フィールドの提供
- ④ 安全・安心への取組
 - ア) 目標
治山連絡会議の開催、民国が連携した治山事業の展開
 - イ) 連携・協力機関
自治体、自治会、NPO
 - ウ) 取組方向
治山事業地における地元説明会、署ホームページへの掲載

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

生物多様性に配慮した広葉樹施業の拡大、希少種の保全保護の推進、緑の回廊の管理強化、関連するシンポジウムの開催

イ) 連携・協力機関

自治体、森林組合、NPO

ウ) 取組方向

猛禽類の生息地環境の保全の推進、緑の回廊の維持管理と広報に取組

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等の実施

ア) 目標

教育関係機関と連携した森林環境教育の推進、歴史文化に関わる森林の整備、企業のCSR活動やボランティアによる森林・林業体験活動の推進、森林空間利用タイプ森林の景観整備と安全衛生の改善

イ) 連携・協力機関

自治体、企業、ボランティア、地域集落

ウ) 取組方向

- ・ 児童生徒の森林教室や企業のCSR活動
- ・ ボランティアグループによる体験林業
- ・ 地域の歴史文化に関わる森林整備等を推進
- ・ 森林空間利用タイプ森林の景観の保全や衛生環境の改善

流域名・流域番号	那珂川流域（40）	担当部署	塩那森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		